

受付時間		一部を除き、午前8時15分～12時。午後は予約の方のみ。(専門外来の診療時間は各科異なります。)						
診療時間		8時30分～12時						
階	科	専門診療	月	火	水	木	金	専門外来・備考
2階	内科	初診	川崎	八木	平井	久保	小椋山/藤井	最新のご案内については、右のQRコードから富山ろうさい病院外来診療のご案内をクリックすると確認できます。
		糖尿病・内分泌	村上	瀧川	村上		稲川	
		消化器内科	八木・徳永	徳永	金	八木	金	『肝臓外来』 田尻 (金)午後
		呼吸器内科	平井・水橋	川崎	水橋	川崎	平井	『睡眠時無呼吸症候群外来』 水橋 (火)9時30分～11時30分 要予約
		腎臓・高血圧	絹野			絹野		
		脳神経内科		久保	温井		久保	
		リウマチ・膠原病		小野瀬	山口		小野瀬	
1階	外科	循環器内科	福田	桑原	藤井・大島	藤井・片岡	桑原	『リウマチ・膠原病』山口 (水)再診のみ
		人工透析室	絹野	絹野	絹野	絹野	絹野	杉森 (土)月2回 9時30分～13時30分
		初診・内視鏡外科	庄司	経田	庄司	角谷	経田	
		消化器外科	金本	庄司	経田		金本	
		乳腺外科	金本	庄司	経田		金本	『乳腺外科』は第2・4週(水)のみ午後の診療が可能。要予約
		呼吸器外科		明元				9時30分～17時
		整形外科	1診	小林 (初診・腎臓外来)	山上 (初診・再診)	近藤 (初診・股関節)	山上 (初診・再診)	平岩 (初診・股関節)
脳外科	2診	関 (腎臓外来)	平野 (リウマチ)	関 (腎臓外来)	※浦田 (足の外科)	峯 (膝関節)		
	3診	山上 (外傷)	峯 (膝関節)	峯 (膝関節)	関 (腎臓外来)	山上 (外傷)		
2階	皮膚科	形成外科	篠川	篠川	篠川	篠川	篠川	初診の方は9時～の診察となります。
		1診	中原	朴	朴	中原	大学医	『しびれの外来』(火)・(水)午前 要予約 <初診は11時まで/大学医の診療日は10時～>
1階	泌尿器科	2診	大学医	中原	木谷	朴		
		初診	森(修)	森(修)	森(修)	森(修)	森(修)	火曜日は11時30分まで
		再診	木村/石浦	担当医	木村/新倉	担当医	新倉/木村	
2階	婦人科	再診	木村/石浦	石浦	新倉/木村	新倉	木村/新倉	『排尿再建センター』(水)午前(金)午前(第2・4週) 『尿路結石破碎センター』(月)～(金)午前 『尿路結石外来』(月)午前
		専門外来	新倉		石浦		石浦 (第2・4週)	
		初診	中野	内山	内山	内山	劉	『母乳外来』(火)・(木)・(金)13時30分～要予約 『助産師外来』 休止 『妊婦健診』 休止 再診 (月)のみ午後診あり
2階	眼科	再診	中野	内山	内山	内山	劉	
		婦人科検診		内山	内山	内山	劉	
2階	リハ科	午前	小澤	小澤	小澤	小澤	小澤	要予約
		午後	特殊検査	—	手術・注射	特殊検査・注射	—	
1階	麻酔科	9時～12時	山上	峯	峯	関	山上	
		8時30分～10時	朴	中原	中原	朴	朴	
2階	メンタルヘルス外来(精神科)	森(-)・河田	森(-)・河田	森(-)・河田	森(-)・河田	森(-)・河田		
		五十嵐					9時～12時 要紹介予約	
		健康診断・人間ドック	長谷部/内山	長谷部/初道	長谷部/初道	長谷部/初道	長谷部/初道	健康診断および各種ドックを受けられる方は要予約。
		脳ドック専門	(木谷)	(木谷)	木谷	(木谷)		『脳ドック専門』(月)～(木)午前 ※水曜日以外は書面対応
1階	放射線科	アスベスト疾患センター	水橋	水橋	水橋	水橋	水橋	12時30分～ 要予約
		核医学診断センター				國田/松村		(木)13時～16時
		読影	出町	出町	出町	出町	出町	
1階	がん相談支援センター	荒井(AM)	荒井(AM)					
		セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	要予約 ※疾患と症状を鑑み担当医師を選定します。

◎救急診察室による「発熱外来」のお知らせ
発熱等の症状で受診される場合、救急診察室で診療を行います。【時間】平日：9時～16時 【受診方法】電話による予約(0765-22-1280)

TEL番号	(0765)22-1280(病院代表)	(0765)22-1354(総合サポートセンター)
FAX番号	(0765)22-5475(病院代表)	0120-935-631(総合サポートセンター)

～7月の休診～ (内科) 田尻 17日 (整形外科) 峯 28・29・31日 (泌尿器科) 新倉 6日 石浦 21日 木村 29・31日 (リハビリテーション科) 峯 28・29日

【富山ろうさい病院 院内公開講座・生活習慣病教室のお知らせ】
《院内公開講座》日 時：令和8年7月22日(水) 14時00分～14時45分 場 所：1階総合受付横フロア 講 師：当院リハビリ技師、管理栄養士
テーマ：毎年恒例!! 暑い夏を乗り切る～暑くても栄養補給できる食事・自宅のできるエクササイズ～

《生活習慣病教室》日 時：令和8年8月26日(水) 14時00分～15時00分 場 所：2階採血室待合フロア 講 師：当院管理栄養士
テーマ：栄養の日! 不足していませんか? 体がよくなるビタミン・ミネラル講座 参加される方は、2階外来受付でお声掛けください。
～毎日を元気にするビタミンのレシピ・元氣とキレイを守るミネラルのレシピ・楽しく学ぶ ビタミン・ミネラルのクイズ～

発行：独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院総合サポートセンター
富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。
(URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/dayori/>)

富山ろうさい病院だよりのバックナンバーはこちらのQRコードから確認できます。

7月 地域包括医療病棟を新設しました(県内2例目)

— 変化する地域の医療ニーズに応じていくために —

かどや なみたか
富山ろうさい病院長 角谷 直孝



令和8年6月より富山ろうさい病院では急性期病棟の一つを地域包括医療病棟に転換しました。この病棟は増え続ける高齢者の救急搬送や緊急入院に24時間、365日対応するための病棟で、病棟専属のリハビリ療法士や栄養士の配置を行い、急性期の医療を提供するとともに、早期に機能回復支援を両立させ、急性期病棟と同じ看護師の配置を行いながら多職種協働で患者さんの早期復帰をお手伝いします。国もこの病棟の導入を政策的に推進していますが、県内ではまだ導入が進んでおらず、当院が二例目の導入例となります。

今回の病床機能転換により富山ろうさい病院ではHCU(ハイケアユニット)5床、急性期病棟103床に加え、地域包括ケア病棟52床、地域包括医療病棟51床を持つこととなります。それぞれの病棟機能の違いは次頁以降に掲載していますので、ご参照いただければと思います。

人口減少が進みながらも高齢者の救急症例が増えていくという地域の実情に沿った病床機能転換になると考えています。今後とも市民の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2026年6月1日「機能別病床数」のビフォー・アフター



富山ろうさい病院では、毎月、ケーブルテレビ「NICE TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2026年7月1日～7月15日
放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) 带状疱疹後の痛みと治療について」
(出演者) 第二麻酔科部長 河田 将行



過去の放送はこちらのQRコードから確認できます。



NICE-TV まちかど魚津
富山労災病院からのお知らせ

【過去の放送はこちらから】
URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/>

富山ろうさい病院の各病棟機能と地域包括医療病棟新設のお知らせ

これまでの病棟構成と機能

HCU(ハイケアユニット)

重症ICUと急性期の架け橋



高度治療室や準集中治療室とも呼ばれ、重症患者のためのICU(集中治療室)と急性期一般病棟の中間にある病棟です。様態がやや安定した患者や大きな手術の経過観察などを集中的に行います。

急性期一般病棟

緊急・集中的な治療と症状観察



病気やけがの治療などのため、緊急で集中的な治療を必要とする患者さんを受け入れる病棟です。24時間体制での症状観察や迅速な治療を行います。

地域包括ケア病棟

自宅・施設への安心な退院を支援



急性期治療を終えた患者さんが安心して自宅や施設へ退院できるよう、医療・リハビリ・退院支援を提供する病棟です。多職種のチームが在宅に向けた準備とサポートを行います。

令和8年6月1日より新設

地域包括医療病棟

高齢者救急と早期復帰の両立



当院では、これまでのHCU・急性期一般病棟・地域包括ケア病棟に加え、「地域包括医療病棟」を新設し、病床の再編を行いました。

高齢者などの軽度・中等度の救急搬送や入院を積極的に受け入れるための病棟です。急性期医療の提供と早期に機能回復支援を両立させ、多職種連携によってスムーズな在宅復帰(または施設復帰)を目指します。

高齢化の進展により、治療後の生活を支える支援の必要性が増加し、早期に自宅や施設へ戻るための支援強化が必要になり、また、軽症～中等症の救急患者の受け入れニーズの増加など、医療だけでなく「回復支援」まで含めた対応が求められるようになりました。

地域の皆さまへメッセージ

「無理なく日常生活へ戻れるよう多職種で支援します」入院早期から医師・看護師・リハビリスタッフ等の多職種が連携し、患者さんが安心して地域に戻れる体制を構築しています。

地域全体での連携と協力をお願い
ケアマネジャー、施設関係者、そしてご家族の皆さまと手を取り合い、一丸となって地域医療を支えていきたいと考えています。

